

YAMAHA
MIXER

KM802

取扱説明書

このたびは、YAMAHAミキサー・KM802をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。KM802の性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

特長

- 8種類ものサウンドソースをミキシングして、ステレオ出力として取り出せます。
- 操作性を考慮しコントロールパネル面を傾斜させました。
- 3系統の SEND/リターン回路を設け、様々なエフェクターを接続できます。
- 1・2チャンネルには、ゲインコントロールがあり、マイクホンを接続できます。
- 13ステップのLEDレベルメーターにより、出力レベルを確実に監視できます。
- ミキシングした信号をヘッドホンでモニターできます。

目次

ご使用前に.....	2
コントロールパネル.....	3
ブロックダイアグラム.....	4
リアパネル.....	5
セットアップ例.....	5
仕様.....	6
サービスについて	

ご使用前に

設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
- 温度の特に低い場所。
- 湿気やホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。

無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

電源コードを大切に

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。外出などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

◎本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外(例えば200V)の電源には絶対に接続しないでください。

セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。

接続について

接続は、各機器の電源スイッチをOFFにしてから行なうか、または各ボリュームを絞ってから行なってください。

ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造したりしないようにしてください。

外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくことになりますので、充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

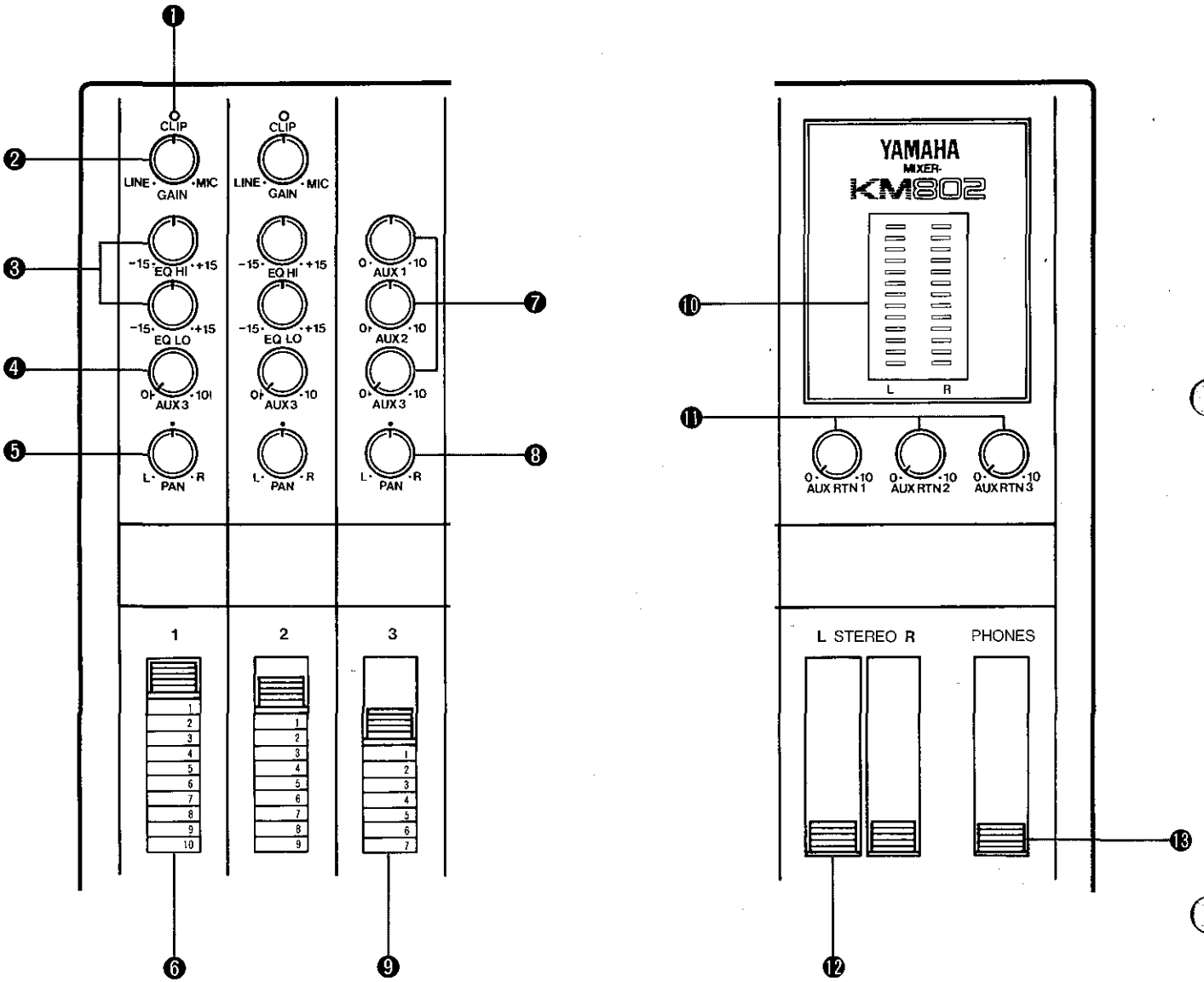
保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

コントロールパネル

●インプット部

●マスター部



インプット部

INPUT 1, 2

マイクロホンや出力レベルの小さな楽器は、GAINコントロールとCLIPインジケータを装備しているチャンネル1, 2へ接続してください。

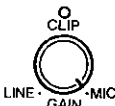
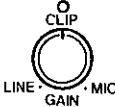
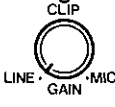
① CLIPインジケータ

入力信号のレベルが、クリッピングレベルの3dB手前に達すると点灯します。

② GAINコントロール

歪みがなく、ノイズの少ない状態で入力できるように、このつまみで入力感度を調整します。マイクの場合はMIC側(右)に、ラインレベルの楽器の場合はLINE(左)側に回してゆき、ピーク時にCLIPインジケータが一瞬だけ点灯する位置にセットしてください。

LINEポジションで3~8chと同等のゲインが得られます。

GAINコントロールの位置	入力ソース
	ローレベルマイクロホン (ダイナミック型)
	ハイレベルマイクロホン (コンデンサー型) 電気・電子楽器
	ローレベルライン (一般オーディオ機器) 電気・電子楽器

③ HI & LO EQコントロール

EQ HIのつまみでは10kHzを基準、EQ LOのつまみでは100Hzを基準にして、それぞれ±15dBの範囲でブーストまたはカットすることができます。イコライジングしない時は、センターの位置にしておきます。

④ AUXコントロール3

フェーダー後の信号をAUX SEND 3 ジャックに送り出すためのつまみです。

⑤ PAN(パンポット)

各チャンネルフェーダーでレベル調整した信号をSTEREO L, Rに振り分けるためのつまみで、各楽器の音像をLチャンネル、Rチャンネル間のどのあたりに定位させるのかを決めることができます。R側に回すと音像が右へ、L側に回すと左へ移動します。

⑥ チャンネルフェーダー

各チャンネルのレベルをコントロールします。

INPUT 3~8

⑦ AUXコントロール1~3

フェーダー後の信号をAUX SEND 1~3の各ジャックへ送り出すためのつまみです。

⑧ PAN(パンポット)

ステレオL-R間のどのあたりに音像を定位させるのかを決めるためのつまみです。

⑨ チャンネルフェーダー

各チャンネルのレベルをコントロールします。

マスター部

⑩ LEDレベルメーター

STEREO OUTのレベルを表示します。"0"を表示した時の出力レベルは0dBです。"-10~0"を表示するようにSTEREOフェーダーをセットすると、ノイズが少なく歪みのない出力が得られます。

⑪ AUX RETURNコントロール1~3

AUX RETURN 1~3の各ジャックで受けたステレオの信号を、STEREO OUTジャックへ出力するステレオの信号とミックスするためのつまみです。

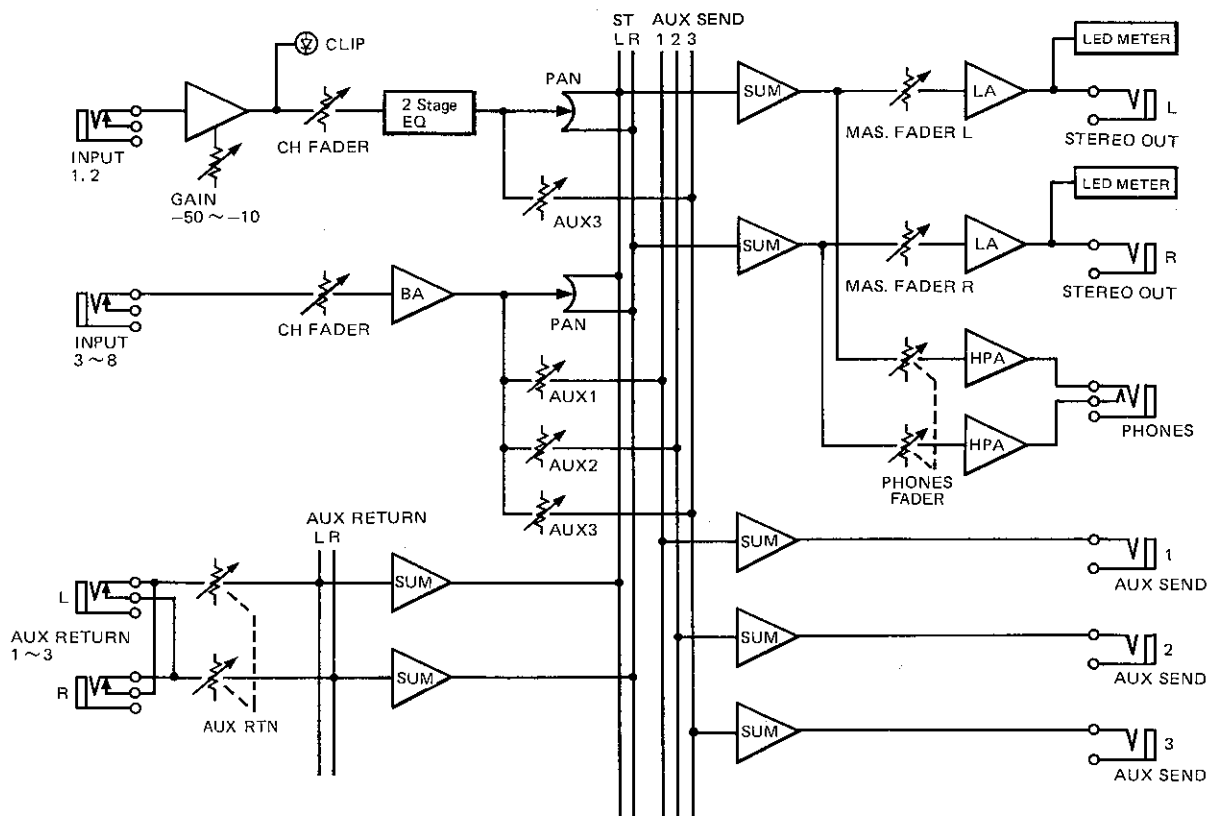
⑫ STEREOマスターフェーダー

チャンネルフェーダーとAUX RETURNコントロールによりミックスされたSTEREO OUT信号を、最終的にレベル調整します。

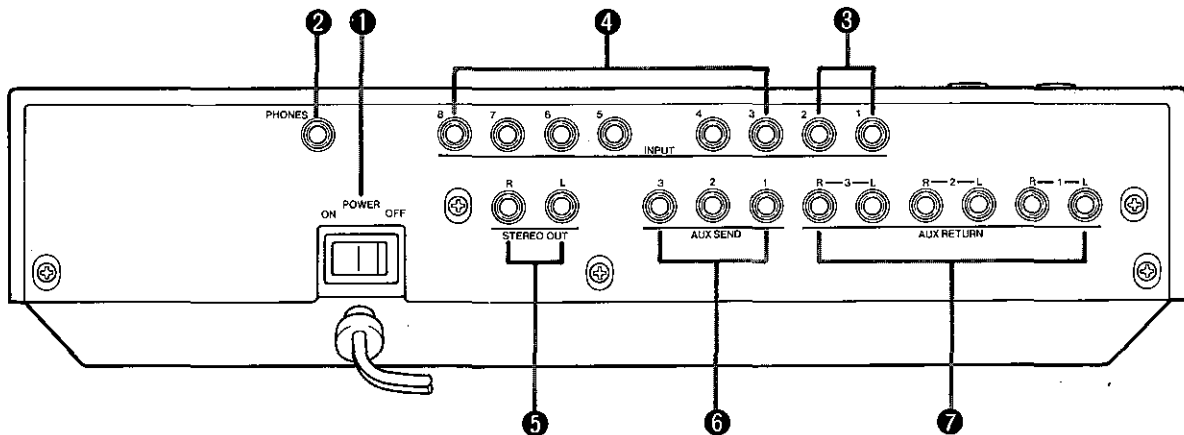
⑬ PHONESフェーダー

PHONESジャックへ出力するステレオ信号のレベルをコントロールします。

ブロックダイアグラム



リアパネル



① POWERスイッチ

電源スイッチです。ONにすると、LEDレベルメーターの“∞”が点灯します。

② PHONES ジャック

STEREO OUTジャックに出力される信号と同じものをモニターできます。一般のステレオヘッドホンをご使用ください。

③ INPUTジャック 1, 2

インピーダンス50~600Ωのマイクロホンまたは600Ωライン入力に対応し、電気(電子)楽器等を接続します。標準ホーンプラグが適合します。

④ INPUTジャック 3~8

600Ωのライン入力に適合し、電気(電子)楽器等を接続します。標準ホーンプラグが適合します。

⑤ STEREO OUTジャック L, R

STEREOマスターフェーダーからの信号を出力します。

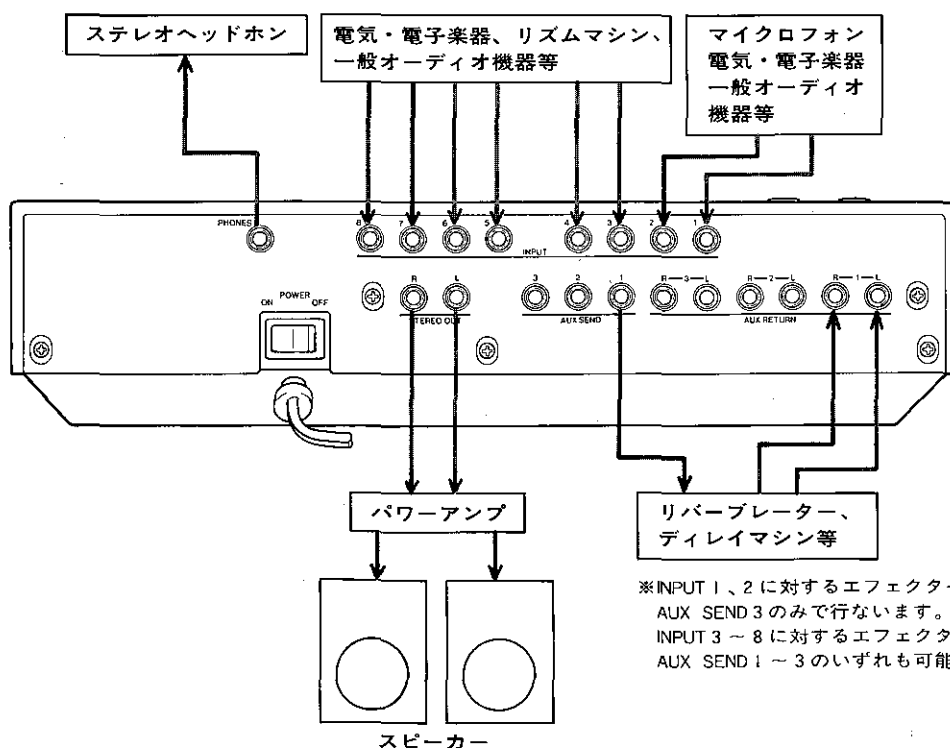
⑥ AUX SENDジャック 1~3

各チャンネルのAUXコントロールの信号をミックスしたものを出力します。

⑦ AUX RETURNジャック 1~3

ここに入力した信号は、ステレオ信号とミックスされます。ステレオ信号を受けることができますが、どちらか片方のジャックにプラグを差し込んだ場合にはMONOとなり、両ジャックに同じ信号が送られます。

セットアップ例



※INPUT 1, 2 に対するエフェクターの接続は、AUX SEND 3 のみで行ないます。
INPUT 3 ~ 8 に対するエフェクターの接続は、AUX SEND 1 ~ 3 のいずれも可能です。

仕様

周波数特性

STEREO OUT 20Hz~20kHz $0 \pm 1/2$ dB (@10k Ω , 0dB)
 AUX SEND 1~3 20Hz~20kHz $0 \pm 1/2$ dB (@10k Ω , -10dB)

全高調波歪率 0.05%以下(20Hz~20kHz @10k Ω , +10dB)

ハム&ノイズ* (20Hz~20kHz, Rs=150 Ω , CH1-2 GAIN=MAX.)

入力換算ノイズ -122dB(CH1,2)
 残留ノイズ -90dB(STEREO OUT)
 STEREO OUT -76dB(76dB S/N)
 MASTERフェーダー→ノミナル
 全CHフェーダー→最小
 -72dB(72dB S/N)
 MASTERフェーダー→ノミナル
 CH1-2フェーダー→ノミナル
 AUX SEND -88dB(78dB S/N)
 全CH AUXコントロール→最小
 -82dB(72dB S/N)
 CH1-2フェーダー→ノミナル
 AUXコントロール→ノミナル

最大出力レベル +17.5dB(@10k Ω , THD0.2%, 20Hz~20kHz)

最大電圧利得

CH 1,2 INPUT → STEREO OUT 62dB
 CH 3~8 INPUT → STEREO OUT 22dB
 CH 1,2 INPUT → AUX SEND ~~52dB~~ → 68dB
 CH 3~8 INPUT → AUX SEND 12dB
 AUX RETURN → STEREO OUT 32dB

クロストーク(1kHz)

入力CH間 -60dB
 入力CH-出力CH間 -60dB

イコライザー特性(CH1,2)

HI ± 15 dB (10kHzシェルビング)
 LO ± 15 dB (100Hzシェルビング)

レベルメーター

STEREO OUT L,R (0VU=0dB)

CLIPインジケータ

CH1,2 INPUT(赤) プリフェーダーポイントで、クリッピングの3dB手前で点灯

電源 AC100V 50/60Hz

消費電力 10W

寸法(W×H×D) 354mm×85mm×303mm

重量 2.6kg

* @12.7kHz, -6dB/oct.のLPFにて補正。

● 0dB=0.775Vr.m.s.

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●ノミナルとは、ツマミが目盛約8の位置のことです。

■入力仕様

入力端子	GAIN設定	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	入力レベル			使用コネクター
				感度*	規定レベル	最大ノンクリップレベル	
CH INPUT (CH1,2)	-50dB	10k ohms	50~600 ohm Mics & 600 ohm Lines	-62dB(0.62mV)	-50dB(2.5mV)	-28dB(31mV)	Phone Jack
	-10dB			-22dB(62mV)	-10dB(245mV)	+12dB(3.1V)	
CH INPUT (CH3~8)	/	10k ohms	600 ohm Lines	-22dB(62mV)	-10dB(245mV)	/	Phone Jack
AUX RETURN1~3(L,R)	/	10k ohms	600 ohm Lines	-32dB(19mV)	-20dB(78mV)	/	Phone Jack

■出力仕様

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル		使用コネクター
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
STEREO OUT (L,R)	600 ohms	10k ohm Lines	0dB(0.775V)	+17.5dB(5.8V)	Phone Jack
AUX SEND 1~3	600 ohms	10k ohm Lines	-10dB(245mV)	+17.5dB(5.8V)	Phone Jack
PHONES OUT	100 ohms	8 ohm phones	-22dB(61.6mV)	-4.5dB(462mV)	STEREO Phone Jack

*感度は、0dB(0.775V)の出力を得るための最低入力レベル、または最高ゲインにした状態で規定出力レベルを得るための最低入力レベルを示す。

● 0dB=0.775Vr.m.s.

●入出力は、全て不平衡(アンバランス)です。

サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1か年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1か年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(お客様ご相談窓口・お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区本木1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバークールビル2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新戸屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(日本楽器高松店内) TEL (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目-7(郵政共同配送センター3F) TEL (0222) 36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL (0534) 56-9211
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-5195

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

日本楽器製造株式会社

本社	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534(60)2431
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢島ビル8F TEL.03(574)8582
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL.03(572)3131
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大塚ビル内 TEL.03(476)5481
池袋店	〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL.03(981)5271
横浜店	〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL.045(311)1201
大阪支店	〒542 大阪府南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)5231
心斎橋店	〒542 大阪府南区心斎橋筋2-39 TEL.06(211)8333
梅田店	〒530 大阪府北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル TEL.06(345)4731
神戸店	〒651 神戸市中央区元町通2-7-3 TEL.078(321)1191
高松店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL.0878(51)7777・(22)2678
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5145
名古屋店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5154
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2155
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL.092(721)7621
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/ヤマハセンター TEL.011(512)8113
札幌店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/ヤマハセンター TEL.011(512)8124
仙台支店	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL.022(22)6146
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL.022(27)8516
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3744
広島店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(248)4515
浜松支店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL.0534(54)4116
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL.0534(54)4077



LMM-802

BWgb, R, RR, R Ⅱ